



今年最初は天文の話でスタートしましょう！

今年(ことし)は1月2日スーパームーンにつづいて、31日(まんげつ)に満月と1ヶ月に2回の満月があることもめずらしい上に、31日は3年ぶりの皆既月食(かいきげっしょく)、さらに7月にもあるので1年間に2回も皆既月食があるという空(そら)を見上(みあ)げるにはすばらしい年になります。



ほかにもいくつかの天体(てんたい)ショーがあるので、今年の天文かんけいをしょうかいします。どれか1つでもたのしんでみてください。

1. 1月31日 皆既月食(3年ぶり)

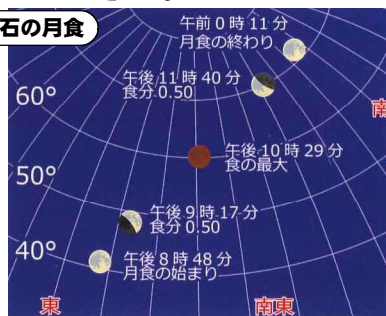
1月31日明石の月食



赤く見える皆既月食

1月31日(水)の宵(よい)から深夜(しんや)にかけて、月が地球(ちきゅう)の影(かげ)にかくされる皆既月食(月全体が地球にかくされる)が全国(ぜんこく)で見られます。

明石では、月が欠(か)け始(はじ)めるのは20時48分、月が地球の影(かげ)に完全(かんぜん)に入ってしまう皆既月食(かいきげっしょく)は21時51分から23時8分の1時間17分つづき、部分食の終(お)わりは、24時11分(2月1日0時11分)です。月も高く、みんながおきている時間から始まるので、ぜひ見てみましょう。皆既月食中の月は、かに座(ざ)といっしょに動(うご)いていきます。



2. 7月28日 2回目の皆既月食(月入帯食 つきいりたいしょく)

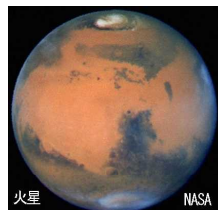
明石では、月が欠(か)け始(はじ)める部分食(ぶぶんしょく)の始まりは、午前3時24分から月が地球の影(かげ)に完全(かんぜん)に入ってしまう皆既月食(かいきしょく)は午前4時30分、そのまま月がしずんでしまいます。(近づいたらくわしくしょうかいします)

3. 7月31日 火星が大接近

地球の兄弟(きょうだい)の惑星(わくせい)「火星」も太陽(たいよう)のまわりをまわっていて、地球は、ほぼ365日で太陽を一周(いっしゅう)、地球より外(そと)をまわっている火星は687日で一周します。だから、地球に近づいたりはなれたりしています。



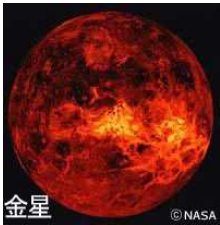
7月31日は、火星と地球が大接近します。火星と地球の間の距離(きょり)は、5,759万kmになり、すごく近(ちか)い方になります。火星の明るさは近いので-2.8等(とう)の明るさになり、見つけやすいです。6,000万kmよりも近い距離での接近となるのは、2003年(らい)15年ぶりとなります。火星の明るさは2018年6月(おわり)から9月(はじめ)まで、-2等をこえるので、見やすいじきが長(なが)くつづきます。赤く明るくかがやく火星を楽(たの)しみましょう。



なつやす きんせい かせい もくせい どせい わくせい
4. 夏休みに金星・火星・木星・土星の4つの惑星が空にせいぞろい



夏休みに入ると、地球のなかまの惑星4つが空にせいぞろいします。8月21日20時には、西の空に宵(よい)の明星(みょうじょう)とよばれる金星、金星から少し南よりに木星、南の空にかがやく土星、南東の空には火星がならびます。

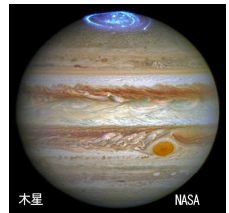


金星 ©NASA

金星は、地球のすぐ内側(うちがわ)をまわり、地球と月の距離(きょり)のやく100倍(ばい)まで、地球に近づく惑星です。大きさは地球の0.95倍、おもさは地球の0.81倍と地球とよくにしています。太陽を225日でまわります。

木星は、太陽系(たいようけい)の惑星の中で一番大きい。大きさは地球の11.2倍、おもさは地球の318倍で、太陽を11.9年でまわります。月のような衛星(えいせい)が65個(こ)もあります。

土星には大きな環(わ)があります。大きさは地球の9.4倍、おもさは地球の95倍で、太陽を29.5年でまわります。月のような衛星(えいせい)が69個もあります。



木星 NASA



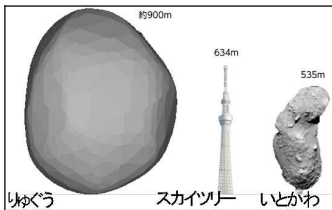
土星 NASA

ざりゅうせいぐん
5. 8月13日明け方 ペルセウス座流星群

かずある流星群の中でもたくさんのりゅうせいを見せてくれ、今回は月明かりもなくおおく見えそうなペルセウス座流星群です。夏休みでもあり、見るには一番いいじきです。10月のオリオン座流星群や11月のしし座流星群、12月のふたご座流星群もたのしみな流星群のだいひょうです。

しょうわくせいたん さ き
6. 小惑星探査機「はやぶさ2」6月にりゅうぐう到着

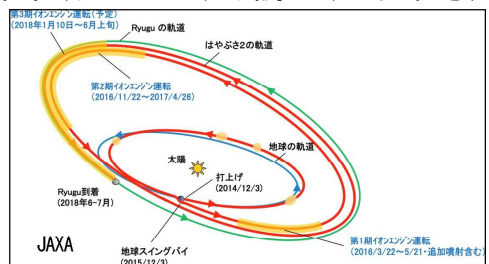
「はやぶさ2」の本体(ほんたい)は、1~1.5mの箱形(はこがた)で、おもさ600kgほど。2014年12月3日に、H-II A26号機(ごうき)で打(う)ち上げられて、順調(じゅんちょう)に飛行(ひこう)をつづけ、いよいよ1月10日より3回目のイオンエンジン運転(うんてん)を行っています。予定(よてい)どおり2018年6月に小惑星(しょうわくせい)「Ryugu(りゅうぐう 900mほどのほぼまん丸)」に到着(とうちゃく)します。「りゅうぐう」は、46億年前(おくねんまえ)に太陽系ができたころの姿(すがた)のままとされていて、到着後(とうちゃくご)1年半(ねんはん)も調査(ちょうさ)をします。3回も「りゅうぐう」に着陸(ちゃくりく)予定(よてい)で、3回目は銅(どう)のかたまりを爆発(ばくはつ)でぶつけてクレーターを作り着陸(ちゃくりく)して中の岩石(がんせき)を採集(さいしゅう)して持ってかえるつもりです。そして、2020年末(ねんまつ)に地球(ちきゅう)にかえってくる予定(よてい)です。



りゅうぐう

スカイツリー

いしかわ



JAXA

地球スイングバイ (2015/12/3)

第1回イオンエンジン運転 (2018/3/22-5/21・追加噴射含む)